

2022年1月  
理事長 森岡 泰裕

## JS健康宣言 2022

日本下水道事業団（JS：Japan Sewage Works Agency）は、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの確保及び健康増進を通じて働き方改革を加速し、JS全体の生産性向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症への対策の徹底と社会的に要請される業務の継続を図るための取り組みを進めています。

2019年8月からは、職員の健康管理、疾病予防、メンタルヘルス対策及びテレワークや時差勤務等の積極的活用を内外に公表して取り組み、これまで一定の成果を上げてきました。

今後とも、働き方改革の取り組みを推進していくため、新たな「JS健康宣言 2022」をここに公表します。

### －「JS健康宣言 2022」10箇条－

#### 1. 健康意識の向上に取り組みます

職員の皆さんの健康に対する意識を高める取り組みを行います。

まずは健康のために歩くことをはじめとする適度な運動の習慣化を推奨するとともに、医師による講演会、保健師による健康相談等を実施します。

#### 2. 定期健康診断または人間ドック受診率の100%達成を目指します

職員の皆さんの定期健康診断または人間ドックの受診率100%を目指します。そのため、未受診者への案内を行い、皆さんの積極的な受診を促します。

#### 3. 定期健康診断または人間ドック受診結果に基づく適切な健康管理の指導を行います

職員の皆さんから定期健康診断または人間ドックの受診結果を提出いただきます。その結果に基づき、医師や保健師から、皆さんの健康管理に資するよう、医師の診察の勧めや皆さんの健康管理に必要な情報を個別にお伝えします。

4. 定期的に健康に関する情報提供を行います

職員の皆さんへ健康に関する情報を定期的に行い、健康の増進に取り組みます。

5. メンタルヘルスケアを推進します

職員の皆さんのストレスチェック受検率の100%達成を目指します。

ストレスチェックの受診により、皆さんのメンタルヘルス不調の気付き及びその対処の支援に努めるとともに、メンタルヘルス不調予防の対策に取り組みます。

6. 禁煙に向けた取り組みを強化します

職員の皆さんの喫煙による影響を低減させるために、禁煙を希望する人には保健師による指導を行います。あわせて受動喫煙防止対策を徹底します。

7. 新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策を徹底します

職員の皆さんへ感染症予防に関する情報を積極的に提供し、テレワーク等による感染防止対策を徹底します。

8. ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方を推進します

職員の皆さんの職務や生活環境に合わせた、テレワークや時差勤務等を活用した柔軟な働き方を推進します。

9. 定時退社とポジティブ・オフの積極的活用を推進します

職員の皆さんの心身の健康を第一に考え、時間外勤務の削減に向けた業務の効率化や平準化を推進するとともに、ポジティブ・オフの月1回以上の取得を推進します。

10. 育児や介護が安心してできる職場環境をつくります

職員の皆さんが育児休業や介護休暇を利用しやすい職場環境づくりに取り組みます。